

# 市議会だより

大月市

令和2年5月31日発行 No.158

特集ページの意見交換会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため延期いたしました。  
新型コロナウイルスの感染症対策にご協力下さい。

●3つの「密」を避けましょう

●感染防止の3つの基本

- 1) 身体的距離の確保
- 2) マスクの着用
- 3) 手洗い

## CONTENTS

- ・令和2年第1回(3月)市議会定例会  
(主な議案の内容) ..... P. 2~
- ・予算審査特別委員会 ..... P. 4~
- ・議決結果等一覧表 ..... P. 6
- ・代表質問/一般質問 ..... P. 7~
- ・議会日誌 ..... P. 16

# こんな事が決まりました

2月25日～3月19日(24日間)

- 市長提出**
- 条例案件・・・5件
  - 当初予算案件・・・8件
  - 補正予算案件・・・6件
  - その他の案件・・・3件
  - 人事案件・・・4件
- 議会提出**
- 特別委員会設置の件・・・1件



## 今定例会の議案

### 主な議案の内容

#### 条例

◎大月市長等の給与の減額に関する条例中改正の件

市長の給与を50%カットします

本市の厳しい財政状況を考慮し、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの市長、副市長及び教育長の給料を減額するため、所要の改正を行いました。

#### 予算(補正)

◎令和元年度 大月市一般会計補正予算(第6号)

- 学校ICT整備事業(ICTを活用した教育環境の整備を推進するための経費) 10,838万円
  - ふるさと大月応援基金積立金 3,360万円
  - 財政調整基金積立金 3,670万円
- 予算(当初)**
- ◎令和2年度 大月市一般会計予算・特別会計予算については、予算審査特別委員会のページ(P45P5)をご覧ください。

#### 人事

- ◎大月市教育委員会教育長の任命について同意を求めるとする件
- ・宇野誠 教育長を任命
- ◎大月市教育委員会委員の任命について同意を求めるとする件

議員定数等について調査、研究を目的とした委員会を設置

本市において、議会に求められる役割と責任を十分に果たしていくため、本市議会における適正な議員定数、議員報酬等及び、議員

ただきたい。

#### 【議員間討議について】

バスの転回所について、議員間討議を行い、「路線バス」及び「スクールバス」が利用している状況であるため、安全確保の観点から、当該土地の安全対策の必要性についての速やかな検討を求めるとを決定し、委員長報告に加えることとした。

### 常任委員会の様子

#### 総務産業常任委員会

バスの転回所について

**Q** 市道の路線廃止に伴い現地調査を行なったところ、バスの転回所には転落防止柵などが簡易的に設けられているのみであり、危険性があると認識した。バスの転落防止など安全対策ができるか。

**A** 私有地であるため、市道として維持管理をしていくのは厳しいが、バス転回所として安全対策を図るということは庁内他部署とも話をさせていたいただきながら、今日いただいた意見をもとに検討をさせてい

### 主な議案の内容

#### 条例

◎大月市長等の給与の減額に関する条例中改正の件

市長の給与を50%カットします

本市の厳しい財政状況を考慮し、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの市長、副市長及び教育長の給料を減額するため、所要の改正を行いました。

#### 予算(補正)

◎令和元年度 大月市一般会計補正予算(第6号)

進捗状況は現在、総務省との協議に入っている。総務省との協議を今年度中に終わらせ、デジタル無線の周波数を取得し、来年度現場着工したいという考え方で進めている。

**Q** 防災無線デジタル化に伴い防災アプリの導入は。

**A** 大月市にあったアプリを導入していくという考えのもとで、他自治体の防災アプリを参考にしながら検討を進めている。

**Q** 防災アプリを活用し、アプリを取得された方に、防災放送を音声で流すことは可能か。

**A** 防災アプリでは、防災放送の内容を喋るといふことは難しいようなので、対応策について打ち合わせを進めている。

#### 社会文教常任委員会

サポートティーチャーについて

**Q** 大月東小学校の1年生が1クラスになることから、担任の先生は1名だが、サポートティーチャーの配置の状況は。

**A** サポートティーチャーについては配置基準を設けており、1クラス31名以上は、市から配置をして支援することとなっているので1名配置している。

国民健康保険特別会計について

**Q** 保険税延滞金として790万円ということだが、前年の状況は。

**A** 平成30年度は1,500万円となっている。

・白須康子 教育委員を任命

◎大月市固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求めるとする件

・稲本美一 委員を選任

◎大月市固定資産評価員の選任について同意を求めるとする件

・鈴木計充 評価員を選任

#### その他

◎大月市議会議員定数等調査特別委員会設置の件

議員定数等について調査、研究を目的とした委員会を設置

本市において、議会に求められる役割と責任を十分に果たしていくため、本市議会における適正な議員定数、議員報酬等及び、議員

シルバーお出かけバスについて

**Q** 利用者負担金が減額されているが人数は。

**A** 今年度の交付者数は、合計で1,080人。

**Q** 前年度からの減少人数は。

**A** 50人減っている。

社会教育施設の閉館について

**Q** 新型コロナウイルスの影響により、社会教育施設など県の施設は一時休館となっている。市の検討の状況は。

**A** 学校の3月2日からの休校措置に伴い、社会教育施設の在り方も含め検討し、なるべく早く決定したいと考えている。(3月4日から休館)

# 令和2年度当初予算を可決！



委員長  
小原 丈司



副委員長  
相馬 力

## 令和2年度予算 審査特別委員会 委員長報告 (要旨)

予算全体の概要並びに各課別の予算内容について、教育長及び部長等出席のもと、担当課長等から説明を受け、慎重審査を行い、採決を行った結果、議案第6号「令和2年度大月市一

般会計予算」については、賛成多数で、議案第7号「令和2年度大月市大月短期大学特別会計予算」から議案第13号「令和2年度大月市後期高齢者医療特別会計予算」までについては、全会一致で可決すべきものと決しました。

予算審査の過程におきましては、各委員から多くの意見等が出されました。そのうち主なものを3点ほど申し上げますと、まず、1点目は、男女共同参画活動の推進と市政モニターへの対応についてです。両事業については、ここ数年事業内容の見直しなどが行われずに実施されてきています。事業の重要性を認識し、より実りある事業とすべく検討をされるよう求めます。2点目は、市営住宅についてです。市営住宅には、多くの空き室があり、また

老朽化した住宅も多くみられます。人口流出が多い本市において、住宅政策は重要な課題であり、低廉で住みやすい住宅の提供を願うと共に、老朽化した市営住宅は、住民に配慮した上で、効率的な整備を進めていくよう強く要望します。

3点目は、新型コロナウイルス感染症への対応についてです。世界的に感染が広がりをみせる新型コロナウイルスは、県内において感染者の確認がされたことの発表があったことから、本市にも対策本部が設置され、同時に大月市議会は感染防止対策への支援を図るべく萩原議長を本部長とした支援本部を設置したところで

消防などが一体となった対応を図られるよう要望します。

その他、多くの委員から多数の活発な質疑がありましたが、大月市内循環型経

済推進条例を遵守され、新年度予算の執行に努められるようお願いいたします。

詳細については、会議録にとどめてありますので、ご了承願います。

## 令和2年度 大月市一般会計予算に対する討論

### ◆反対討論(要旨)

藤本 実 議員

市道大月飯岡線の拡幅ができれば、大規模空閑地に誘導する仕組みが整います。財政が厳しい最中です。費用が11・5億円に収まらないことがわかっていて、大月駅南北自由通路に手を伸ばすのは時期尚早です。新年度、JR東日本との基本調査設計協議を進める予算8、328万円は計上すべきではありません。市の財政の手に余ります。

### ◆賛成討論(要旨)

鈴木基方 議員

大月駅南北自由通路について、事業執行のための予算が盛り込まれたときに、その内容を精査すべきで、今回の調査設計にかかる予算は否決すべきではない。本案は、ふるさと納税特産品開発事業、大月市滞在価値創出事業などの新規事業も盛り込まれ、厳しい財政状況ではあるにしても、この難局を乗り切ろうという戦略的予算編成となっている。

## 主な予算の使い道が決まりました



【事業名】 事業仕分け実施経費

【事業費】 217万7千円

【内容】 事業の費用対効果や行政評価の客観性、透明性等の確保のため事業仕分けを実施する。



【事業名】 ふるさと納税特産品開発事業助成

【事業費】 90万円

【内容】 ふるさと大月応援寄附金の返礼品に魅力ある特産品を多く登録するため、特産品の開発を助成する。



【事業名】 幼稚園・保育所(園)の再編整備

【事業費】 2億1684万円

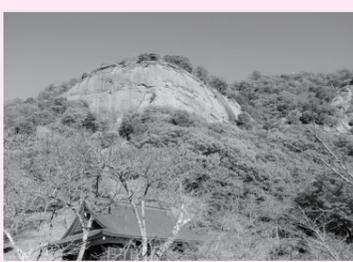
【内容】 平成30年2月に策定した「幼稚園・保育所(園)の再編に関する市の方針」に基づき、公募により選定された社会福祉法人による保育園施設整備に対して施設整備補助金を交付する。



【事業名】 大月市滞在価値創出事業

【事業費】 1724万1千円

【内容】 国の地方創生推進交付金を活用し、観光案内所の改修や桃太郎伝説を中心としたシティープロモーションを行い、本市への訪問者の滞在時間を増やし、地域内消費、移住・定住及び交流・関係人口の創出を図る。



【事業名】 岩殿山崩落箇所危険度判定調査事業

【事業費】 500万円

【内容】 崩落により、令和元年8月から通行止めとなっている岩殿山の鏡岩及び登山道の危険度判定調査を行う。



【事業名】 英語検定助成(国際理解を深める外国語推進事業)

【事業費】 75万円

【内容】 英語検定の受験に要する費用の一部を助成することにより、保護者の経済的負担の軽減と学習意欲の向上を図る。



【事業名】 学校ICT教育推進事業

【事業費】 183万6千円

【内容】 大月市・上野原市・丹波山村・小菅村の2市2村が広域連携事業として、共同で1名のICT教育支援員を配置することで東部地域のICT教育を充実させるための経費



【事業名】 鳥沢小プール建設事業

【事業費】 1億9216万円

【内容】 老朽化した鳥沢小学校のプール(昭和41年建設)の更新経費



【事業名】 高規格救急車整備事業

【事業費】 3710万円

【内容】 老朽化に伴い機能が低下し、安全面が危惧される高規格救急車を更新することにより、消防力を強化し消防防災体制の万全を図る。



# 市政を問う

3月定例会

## 代表質問・一般質問

代表質問・一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。

### 代表質問

- (1) 西室 衛議員 (大月改新の会 & 公明) 8ページ
  - ①市長の所信及び、令和2年度重点政策は
  - ②新型コロナウイルスへの対応策は
- (2) 山田政文議員 (大月改新の会 & 公明) 関連質問 9ページ
  - ①都留市・上野原市との公共施設相互利用の締結について提案する
  - ②公共交通の利便性の向上について問う
- (3) 安藤久雄議員 (大月改新の会 & 公明) 関連質問 10ページ
  - ①学校統廃合により廃校となった15校の現状は
- (4) 奥脇一夫議員 (山と川の街大月) 11ページ
  - ①名勝猿橋周辺にミニ道の駅を整備する考えは
  - ②大月駅南北自由通路の橋台に当たる複合ビルを造る考えは

### 一般質問

- (5) 藤本 実議員 (日本共産党 所属) 12ページ
  - ①大月市内の訪問看護の現状をどう認識しているか
  - ②小林市長の今任期中に移転するのか
- (6) 棚本晃行議員 (山と川の街大月) 13ページ
  - ①観光による稼ぐ地域の実現に向けて国の制度を活用すべき
  - ②地域資源や文化、伝統芸能を活用したナイトタイムエコノミーの推進を
- (7) 鈴木基方議員 (山と川の街大月) 14ページ
  - ①合併協議会も視野に広域連携を考えるべき
  - ②動物駆逐用煙火講習会の対応は
- (8) 小原文司議員 (山と川の街大月) 15ページ
  - ①管理職員昇任希望制度への申し出数と合格者数は

本文は要旨の掲載であり、質問者自身が責任を持って作成したものです。詳しい内容については、会議録(6月上旬発行予定)を図書館及び市のホームページ(<http://www.city.otsuki.yamanashi.jp/>)で閲覧することができます。

令和2年3月定例会

議決結果等一覧表

賛成○ 反対● ※萩原剛 議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	相馬	奥脇	小泉	西室	小原	鈴木	藤本	山田	相馬	鈴木	安藤	志村	棚本	結 果
			保政	一夫	三雄	衛	文司	木章	実	政文	力	基方	久雄	和喜	晃行	
条例	第1号	大月市監査委員条例中改正の件														原案可決
	第2号	大月市印鑑条例中改正の件														
	第3号	大月市長等の給与の減額に関する条例中改正の件														
	第4号	大月市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第5号	大月市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例中改正の件														
当初予算	第6号	令和2年度 大月市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	原案可決
	第7号	令和2年度 大月市大月短期大学特別会計予算														
	第8号	令和2年度 大月市国民健康保険特別会計予算														
	第9号	令和2年度 大月市簡易水道特別会計予算														
	第10号	令和2年度 大月市下水道特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第11号	令和2年度 大月市介護保険特別会計予算														
	第12号	令和2年度 大月市介護サービス特別会計予算														
	第13号	令和2年度 大月市後期高齢者医療特別会計予算														
補正予算	第14号	令和元年度 大月市一般会計補正予算(第6号)														原案可決
	第15号	令和元年度 大月市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)														
	第16号	令和元年度 大月市簡易水道特別会計補正予算(第5号)														
	第17号	令和元年度 大月市下水道特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第18号	令和元年度 大月市介護保険特別会計補正予算(第4号)														
	第19号	令和元年度 大月市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)														
その他	第20号	市道の路線認定の件														原案可決
	第21号	市道の路線一部廃止の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第22号	市道の路線廃止の件														
	第28号	大月市議会議員定数等調査特別委員会設置の件														
人事	第24号	大月市教育委員会教育長の任命について同意を求める件														原案同意
	第25号	大月市教育委員会委員の任命について同意を求める件														
	第26号	大月市固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第27号	大月市固定資産評価員の選任について同意を求める件														



大月改新の会&公明  
西室 衛

## Q 市長の所信及び、令和2年度重点政策は

### A 移住定住、子育て支援、教育等に重点をおく

**問** 市長の所信及び令和2年度当初予算について。

1、小林市長の重点政策は。

2、防災無線デジタル化計画で、難聴地域解消への対策は。  
3、母子手帳アプリの具体的内容は。

**答** 総務部長

令和2年度の予算編成については、歳入に見合った歳出を原則に、移住定住対策、子育て支援、地域活性化、教育環境の充実などに重点配分をすることとしました。移住定住対策については、移住相談窓口の移転子育て支援については、整

備を計画している社会福祉法人に対する助成、地域活性化については、観光協会と移住相談窓口の一元化、教育環境の充実については、ICTを活用した環境整備を予定しています。

次に、防災無線のデジタル化計画で聞き取りにくい地域への対策については、個別受信機の設置も受信状況を確認する中で想定しており、さらに、アプリ等による対応も進めることとされています。

次に、母子手帳アプリの具体的内容についてです。母子健康手帳の記録から地域の情報までをスマートフォン等にて簡単な操作で利用することができ、主な機能としましては、

予防接種のスケジュール管理、子供や母親の健康記録等、妊娠から出産、育児まで切れ目なくフルサポートできるものと考えています。

**答** 市長

新型コロナウイルスに対する市の現状の対応策については、独自の取組として市ホームページのトップ画面上に、問合せ先や感染対策などの最新情報を掲載しての市民周知、大月駅周辺飲食店等へのアルコール消毒薬及び手洗の方法の配布、最新情報の収集及び関係各所への周知を実施してまいりました。

## Q 新型コロナウイルス（新型コロナウイルス）への対応策は

### A 正しい情報の発信及び必要となる対策を行う

**問** 新型コロナウイルスへの対応策は。

1、新型コロナウイルス早期終息への、市の現状の対応策は。  
2、市立中央病院の受入れ体制は。  
3、一斉休校による、児童生徒への対応は。

市民に対し正しい情報を発信及び必要となる対策を行い、感染拡大防止のため全力を尽くしてまいります。次に、市立中央病院の受入れ体制と検査への対応については、市立中央病院は、第二種感染症指定医療機関ですので、平時より感染症診療に対する体制は整備されているところです。また、検査、診療に関して保健所の指示に従い対応することです。

次に、児童生徒への対応については、臨時休校期間中の小学生は、学童保育と連携する中で、小学校での受入れも行っています。



大月改新の会&公明  
山田 政文

## Q 都留市・上野原市との公共施設相互利用の締結について提案する

### A 締結に向けて鋭意努力してまいります

**問** 都留市には芭蕉月待の湯、上野原市には秋山温泉や温水プールがありますので、両市と公共施設の相互利用の締結を提案します。このことよって、大月市民の施設利用の利便性を図ることができ、都留市、上野原市においても各施設の利用者の

増加が見込まれ、双方にとってウイン・ウインのメリットがある協定になると考えますが、いかがでしょうか。

**答** 市長

議員ご提案のとおり上野原、都留、両市とウイン・ウインの関係をつくるという

うことが非常に大切であるというふうにも思っています。先ほど答弁しましたとおり、総合体育館、市民会館、郷土資料館、テニスコートなどを提供し両市にメリットをつくる必要がありますので、議員ご提案のとおり働きかけをしてみ、連携を推進していくということは重要ですので、他市の状況をしっかりと調査、交渉した上で、締結に向けて鋭意努力をしてみたいと考えています。

## Q 公共交通の利便性の向上について問う

### A 発着時間は早急に対応。中央病院の無料送迎バスは、状況を見て判断

**問** 大月駅のJR中央線、富士急行線の発着時間に合わせてバスの発着時刻を調整すべきと考えますが、いかがでしょうか。

また、中央病院の無料送迎バスの見直しについてお答えください。

**答** 市長

大月駅のJR中央線、富士急行線の発着時間に合わせてバスの発着時刻を調整すべきについては、一般のハイバ行きの件を含めて、路線バス事業者と連携を密にしなが、本年4月のダイヤ改正を目途に早急な対応に努めてまいります。

中央病院による無料送迎バスについては、中央病院に働きかけをする中で、まずは現状とこれまでの公共交通について確認しました。大月駅と中央病院を結ぶ運行便数は平日55便あり、平均20分間隔で運行しています。また、シルバーお出かけバスや障害者お出かけバスの発行による支援や、路線バス待合所の新設も行っています。このようなことを踏まえ、現在中央病院では無料送迎バスについては、今後の経営状況や通院している方等のニーズを把握しながら、判断していくとの考えです。



上野原スポーツプラザ市民プール



大月改新の会&公明  
安藤 久雄

**Q** 学校統廃合により廃校となった15校の現状は

**A** グラウンドのみ、建物が存在するなど、跡地により異なる状況です

**問** 公共施設の利用状況について

公共施設の利用状況についてのうち、学校統廃合で廃校となった15校の現状と、その残った校舎、あるいは体育館の耐震性の有無が、これから使っていく上では問題になってくると思います。その耐震化が済んでいて利用できる体育館、あるいは校舎等ほどのくらいあるのかお聞きします。また、下和田の陸上競技場の上に勤労青年センターがあります。老朽化が進んでいるというところで、廃止をしなければならぬと聞きしているところですが、勤労青年センターの事務所等が入る建

校舎等ほどのくらいあるのかお聞きします。

また、下和田の陸上競技場の上に勤労青年センターがあります。老朽化が進んでいるというところで、廃止をしなければならぬと聞きしているところですが、勤労青年センターの事務所等が入る建

**答** 教育長

物と、駐車場の上に立派な体育館があるわけですが、スポーツ少年団の皆さんやフットサルやハンドボールの高校生の方々が、一般の方々がその体育館を利用させてもらって、健康あるいは技術の向上に大変貢献しているという体育館なのだというふうにお聞きしました。その体育館が老朽化等々の理由で壊される、あるいは使えなくなるというところで、大変困るというふうな声もありますので、その辺については、どのように考えているのかお聞きします。

校舎と体育館を解体し、グラウンドのみとなった学校跡地や建物が存在するなど、跡地によって異なる状況となっています。また、民間企業に売却、または貸出することで、

本市の貴重な財源となつて

さらに、地域への貢献としましては、地域での集いの場の提供やスポーツ少年団等への貸出し、あるいは市の施設として利用しています。

次に、耐震性があつて活用できる校舎と体育館はどこかについてですが、校舎または体育館のどちらか、あるいはともに耐震性がある施設のうち、やや柔軟的に活用を進められる施設は2施設であり、旧大月小学校と旧富浜中学校になります。しかし、この2つの施設につきましても先ほどお答弁しましたとおり、地域貢献として地域や各種団体等で使用しているため、借りている方々と相談をする必要があると考えています。

続きまして、勤労青年センターについては、勤労青年センター及び勤労者体育センターにつきましては、昨年度大月市スポーツ推進審議会に施設の在り方につ



旧笹子小学校

いて諮問し、施設の老朽化と耐震性の問題などから、閉館の方向性の答申をいただきました。市としましては、利用者への丁寧な説明を尽くし理解をいたいただく中、諸問題を解決しながら閉館に向けてのスケジュールを進めていくこととしており、そのおおよその閉館のスケジュールとしましては、勤労青年センターは令和3年度末をめぐり、勤労者体育センターは令和5年度末をめぐりとして検討しているところです。



山と川の街大月  
奥脇 一夫

**Q** 名勝猿橋周辺にミニ道の駅を整備する考えは

**A** 現在のところ、道の駅を整備する具体的な計画はありません

**問** 今、道の駅が大変各地でにぎわっています。

そこで、名勝猿橋周辺にミニ道の駅を整備することに、お土産屋さんや、地元農産物等の直売ができるようにし、来場者を増やすような取り組みの考えが、当局にあるか伺います。

**答** 産業建設部長

現在のところ、名勝猿橋周辺に道の駅を整備する具体的な計画はありません。しかしながら、道の駅は観光拠点となり得る施設であり、農産物や特産品の販売、レストランの併設により観光客の滞在時間を延ばすなど、本市に大きな経済効果

をもたらす可能性を秘めた施設であると考えています。本市に近い道の駅の敷地面積を確認したところ、道の駅つるが約1万600平方メートル、道の駅こすげが約4、500平方メートルであり、複数の大型バスの駐車場やテント、トイレ施設など、ある程度の用地面積が必要となります。猿橋周辺に道の駅こすげより縮小した規模の道の駅を整備するとしても、現状では土地の確保、選定などが一番の課題だと考えています。

**問**

大月駅南北自由通路については、橋台に当たるような複合ビルを北口と南口に造らなければいけない。これには、民間を導入し、民間が採算の取れる商業複合ビルにすべきと思うが、当局の見解は。

**Q** 大月駅南北自由通路の橋台に当たる複合ビルを造る考えは  
**A** 公共空間や都市的景観への影響が大きく、難しい

大月駅周辺整備は、自由通路等の基盤整備が駅北側の大規模未利用地への様々な施設の立地を促し、まちがにぎわいをつくり出していくための取組でもあります。市民の皆様や駅利用者にご理解をいただけるものとなるよう、最善の努力をしております。

**答** まちづくり創生課長

議員ご提案の南口駅前広場の一般駐車場の複合施設を建築すること及びこの複合施設から駅北側へ通じる通路は、広々とした公共空間や都市的景観への影響が大きいため、難しいものと考えています。また、自由通路の整備に伴う橋上駅舎

名勝猿橋周辺





藤本 実  
日本共産党 所属

**Q** 大月市内の訪問看護の現状をどう認識しているか

**A** 現状、将来の人材不足は、市も受け止めている

**問** 1月の研修会の資料によると、大月市内の在宅医療サービスのうち、訪問看護は事業所2か所、看護師10名で担われていますが、現場からSOSが発信されています。ある訪問看護ステーションの所長さんが次のように訴えています。これまで依頼

を全て受けるなど事業は軌道に乗ってきたが、ここで2名の退職があり、既に新規を14件断っている。1人でおおよそ80人から100名を担当していますが、以前より重度の人が在宅になっていて、時間がかかります。みんなが元気でないと、

玉突きで負担が重くなり潰れますと。

**答** 市民生活部長

看護師等医療系人材不足は、医療、介護、双方に共通する大きな問題として認識しています。

先日、訪問看護事業所の代表者の方から直接お話を伺う機会がありまして、現状、そして将来の人材不足についてということで、市としても受け止めているところでございます。

本市の少ない資源を有効活用するために、同業者間及び異業者間の連携を推進するための取組を平成27年から行っていますが、今後も、市内訪問看護ステーション間の連携、また市立中央病院の訪問看護の実施に向けた協議等を含めまして、将来を見据えた訪問看護サービスの維持に向け検討してまいりたいと考えています。

**Q** 小林市長の今任期中に移転するのか

**A** 市民の皆様の意見を聞きながら慎重に考える

**問** 市役所本庁舎は役場の時代から100年近く当地にあり、これまで様々に協力してきた地主さんや周辺住民がいるわけですが、この歴史への配慮がなく、頭越しに事が進められることに違和感を覚えます。

**答** 市長

市役所本庁舎については、移転や建築等を検討しなければならぬ状況となっております。

今後、市においてメリット、デメリット、規模、費用など、検討案を作成した段階において協議会を立ち上げ、市民の皆様意見を

頂いた上で、議会に説明をさせていただきますので、ご理解をお願いします。私の今任期中に移転するのかについては、現在移転に関する候補地を模索している段階です。庁舎の老朽化、耐震性等を考えると、早い段階での結論は必要となりますが、市民の皆様意見を聞きながら慎重に考えてまいります。



山と川の街大月  
棚本 晃行

**Q** 観光による稼ぐ地域の実現に向けて国の制度を活用すべき

**A** 制度を活用できるように、さらに検討を進めていく

**問** 観光による稼ぐ地域の実現には、専門知識を有する、分析、プロモーション、マネジメン

トのできる人材が必須である。地域人材ネットワーク、地域おこし企業人交流プログラムなど、国の制度を活用すべきと考えるが市の見解は、

**答** 市長

地域人材ネットワークは、市町村が地域力創造のための外部専門家としてアドバイザーを招聘し、地域独自の魅力や価値を向上させる取組を実施した場合に、報酬、旅費、宿泊費、ワークシoppに係る費用などに対し最大560万円を上限に特

別交付税措置される有利な制度となっております。

地域おこし企業人交流プログラムは、民間企業等の社員を一定期間受入れ、そのノウハウや知見を生かし、地域独自の魅力や価値の向上等に半年以上3年以内で従事してもらうプログラムです。

地方公共団体が派遣する意向のある企業や企業人を探すなどの受入れ期間前に要する経費に対し100万円、受入れ期間中に要する経費に対し1人につき560万円を上限として、それぞれ特別交付税措置される制度となっております。

これらの制度で専門的な人材を活用できるのは一定期間のみですので、短期間で専門的な知識、分析、プロモーション、マネジメントのできる人材を発掘、育成することが重要だと考えています。これらのことから、有効かつ適切に制度を活用できるように、さらに検討を進めてまいります。

**Q** 小林市長の今任期中に移転するのか

**A** 市民の皆様の意見を聞きながら慎重に考える

**問** 市役所本庁舎は役場の時代から100年近く当地にあり、これまで様々に協力してきた地主さんや周辺住民がいるわけですが、この歴史への配慮がなく、頭越しに事が進められることに違和感を覚えます。

**答** 市長

市役所本庁舎については、移転や建築等を検討しなければならぬ状況となっております。

今後、市においてメリット、デメリット、規模、費用など、検討案を作成した段階において協議会を立ち上げ、市民の皆様意見を

頂いた上で、議会に説明をさせていただきますので、ご理解をお願いします。私の今任期中に移転するのかについては、現在移転に関する候補地を模索している段階です。庁舎の老朽化、耐震性等を考えると、早い段階での結論は必要となりますが、市民の皆様意見を聞きながら慎重に考えてまいります。

**Q** 地域資源や文化、伝統芸能を活用したナイトタイムエコノミーの推進を  
**A** ナイトタイムエコノミーを推進してまいりたい

**問** 地域資源や文化、伝統芸能を活用し、公共施設、街中を活用したイベントの開催など、夜の経済活動を促す取り組み、ナイトタイムエコノミーの推進を提案する。

**答** 産業観光課長

今年の秋に予定されているビジネスホテルの開業は、夜間の経済活動への大きな可能性を感じているところ。星空観察や伝統芸能の披露、和文体験など、本市の環境を活かしたインバウンド向けのナイトタイムエコノミーも各種考えられるので、関係者の皆さん

その他の質問

**問** 観光振興による稼ぐ地域の実現について

**問** 調査分析と指標の設定について

**問** 滞在時の快適性、観光地の魅力向上を図るための整備について  
**問** 安心安全対策、危機管理体制について



山と川の街大月  
鈴木 基方

### Q 合併協議会も視野に広域連携を考えるべき

### A 広域化や共同事務などに向けて努めてまいる

**問** 2045年における東部地域3市3村の人口推計値と合計値、また、2045年における本市の65歳以上人口と生産年齢人口はどうなっているか。

**答** 合併協議会設置も視野に入れた広域連携全般について考えるべきだが、市長の考えは。

人口減少社会における事務及び機構の維持、効率化についてどう考えるか。

**答** 国立社会保障人口問題研究所の2045年における本市の人口推計値は1万1,125人、都留市の人口推

計値は1万9,971人、上野原市の人口推計値は1万1,977人、小菅村の人口推計値は300人、丹波山村は178人、道志村は999人、東部地域の3市3村の合計値は4万4,550人となっています。また、2045年における本市の65歳以上の人口推計値は6,772人、総人口推計値における割合は61%、生産年齢人口の推計値は3,827人、総人口推計値における割合は34%となっています。

東部地域の市村の人口は減少する見込みとなっています。本市では上下水道事業、一般廃棄物処理事業、介護認定業務などにおいて近隣市町村と連携を図ってまいりました。今後はこれまで以上に事務全般の効率化を図っていかねばならないと考えています。

今後は、山梨県や他市町村との連携を密にしながら広域化や共同事務などに向けて努めてまいります。

### Q 動物駆逐用煙火講習会の対応は

### A 申込みをされた皆様には次回の開催について直接連絡

**問** 動物駆逐用煙火講習会の開催の対応について、講習会を定期的に実施すべきと考えるが、いかがか。また、今後、講習会に補助金を出す考えは。

**答** 産業観光課長

動物駆逐用煙火を利用、購入するには、日本煙火協会が開催する保安講習会を受講し、煙火消費保安手帳の交付を受ける必要があります。市では3月24日に保安講習会の開催を計画し、広報等で市民の皆様にお知らせをしました。既に70名を超えています。県内で新型

コロナウイルスの感染者が確認され、感染の危険度が増していることから、講習会の開催を延期することとなりました。既に参加の申込みをされた皆様には、次回の開催についても直接連絡を入れることとしています。煙火消費保安手帳所持者は年1回以上保安講習会を受ける必要があります。来年度以降も定期的な開催を計画しています。

現状はありませんが、補助制度についても検討を行うことにより、少しでも鳥獣による被害を削減していけたらと考えています。



山と川の街大月  
小原 文司

### Q 管理職員昇任希望制度への申し出数と合格者数は

### A 本年度の管理職員昇任希望制度には、10名の申し出がありました

**問** 管理職の任用についてお聞きいたします。この質問は、平成30年の6月と9月に質問をさせていただきましたが、明快な答弁をいただくことができませんでした。政権が変わりまして小林市政になりましたので、再度この質問をさせていただきます。

**答** 管理職員昇任希望制度 これを受ける人数、申し出数と合格者数を教えてくださいいただけますか。

**答** 市長

本年度の管理職員昇任希望試験は、昨年11月中に実施しました。また、昨年10月には、大

月市管理職員昇任希望制度実施要綱を一部改正し、この制度への申し出数につきまして、公表することができるとしました。しかし、合格者数は、選考結果となりますので、次期人事異動により公表することとなっております。現時点では、公表することはできません。なお、本年度の管理職員昇任希望制度には、10名の申し出がありました。

### 視察研修報告

会派及び議員個人が研修所や先進地への視察研修を行い、行政に対し提案をしています。  
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

- ◆令和元年7月16日～18日
  - ◎石川県羽咋市
    - ・人口減少対策について(定住促進への取り組みについて)
  - ◎富山県小矢部市
    - ・人口減少対策と地域活性化について(人口減少の状況と施策について)
    - ・おやべ型1%まちづくり事業について
- ◇参加議員
  - 大石 源 廣
  - 小 泉 二三雄
  - 小 原 文 司
  - 鈴 木 基 方

- ◆令和元年10月17日
  - ◎東京都中央区(TKP東 京駅八重洲カンファレンスセンター)
  - ・公共施設マネジメントと公会計改革(財政問題としての公共施設マネジメント)
  - ・公共施設マネジメントから始まる本格的行政改革
- ◆令和元年11月2日
  - ◎東京都中央区(TKP東 京駅八重洲カンファレンスセンター)
  - ・地方議員のための地域経済分析システムRESAS活用 基礎・応用編
- ◆令和元年11月6日～7日
  - ◎神奈川県横浜市(波止場 会館多目的ホール)
  - ・今だからこそ地域の課題解決へ自治体の役割と議会
- ◇参加議員
  - 棚 本 晃 行

# 議会日誌

あなたも  
本会議を傍聴しませんか

## 2月（後半）

17日	令和2年第1回山梨県東部広域連合議会2月定例会
18日	議会運営委員会
20日	大月市都市計画審議会
21日	令和2年第1回東部地域広域水道企業団議会定例会 山梨県東部広域連合議会及び広域行政調査特別委員会合同研修会
25日	全員協議会 令和2年第1回市議会定例会（本会議）開会 予算審査特別委員会 令和2年第1回山梨県後期高齢者医療広域連合議会定例会
26日	令和2年大月都留広域事務組合議会3月定例会
27日	総務産業常任委員会
28日	社会文教常任委員会

## 3月

6日	議会運営委員会 全員協議会 令和2年第1回市議会定例会（本会議） 予算審査特別委員会
9日	予算審査特別委員会
10日	予算審査特別委員会 市議会広報委員会
16日	令和2年第1回市議会定例会（本会議）代表質問・一般質問
19日	議会運営委員会 全員協議会 令和2年第1回市議会定例会（本会議）閉会
25日	山梨縣市町村振興協会第4回臨時評議員会

## 4月

8日	山梨縣市議会議長会正副会長事務局長会議
21日	議員定例懇談会

## 5月（前半）

8日	臨時全員協議会 市議会広報委員会
----	---------------------

### 市議会広報委員会からのお知らせ

市議会広報委員会では、市民の皆様が親しまれ、愛される紙面づくりに努めておりますが、さらに見やすく、読みやすい紙面づくりのために、市民の皆様の貴重なご意見・ご感想を議会事務局までお寄せ下さい。

議会の傍聴は、傍聴券に住所・氏名などを記入するだけで出来ます。詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。

※コロナウイルス感染拡大の状況により自粛をお願いする場合があります。

### 6月定例会の日程（予定）

- 開会日 5月29日
- 代表質問 6月15日
- 一般質問
- 一般質問（予備日） 6月16日
- 閉会日 6月18日

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

### 編集後記

今年に入り、コロナウイルスが世界的大流行となり、世界経済、市民生活に大きな影響を与えました。本市でも学校の休校、施設の閉鎖、イベントの自粛など色々な所で影響を受けました。幸い大月市は市民の皆様のご理解とご協力により、4月末現在では感染者が発生していません。

これからも市議会だよりを通し開かれた議会として、市民の皆様へ情報発信をしてまいります。

（担当 志村和喜）

Editorial note

発行 大月市議会  
編集 市議会広報委員会

大月市議会事務局  
〒401-8601 山梨県大月市大月2丁目6番20号  
TEL.0554-23-1057 FAX.0554-23-0321  
E-mail gikai-19206@city.otsuki.lg.jp

市議会  
広報委員会

委員長	鈴木 基方
副委員長	藤本 実
委員	相馬 保政
委員	安藤 久雄
委員	志村 和喜
委員	棚本 晃行

